

2017 年度

アメリカ留学報告書

留学先：セントラルミズーリ州立大学

留学期間：8月23日～12月7日

新潟国際情報大学
国際学科
学籍番号：21016045
坂上 和正

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	3
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	4
5	所感	4
6	おわりに	5
	謝辞	5

付録

	研修日誌	6
--	------	---

1 留学先及び実習期間

留学先：セントラルミズーリ州立大学

留学期間：平成 27 年 8 月 23 日～平成 27 年 12 月 7 日

※帰国は 12 月 8 日

2 留学先概要

(1)大学について

セントラルミズーリ大学は、カンザスシティから東に約 80 キロのウォーレンスバーグにある大学である。150 もの学術プログラムが提供されるキャンパスでは、幅広い学位を取得することができ、ミズーリ州以外からも全米 43 州、57 カ国から留学生が集まっている。また、アメリカでは有数の航空基地であるホワイトマンベースに近いことから航空学が有名であり、パイロット志願の学生が全国から集まる。敷地も広く様々な施設が用意されておりクラスルームのあるビルディングから徒歩 6 分圏内に学生寮が 13 棟もあり、そのほかにも大学が管理している学生用のアパートなども用意されている。

(2)大学で行われている教育について

大学自体の専攻は全部で 10 種類あり、ビジネス系、社会学系、人文科学系、芸術・デザイン系、教育系、語学系、医療・健康系、環境・バイオ系、工業・建築系、情報系がある。この大学では前述した航空学は工業・建築系に含まれる。

3 留学目的

留学をすることで普段通りに生活している上で得る事のできない経験や文化を体験することが出来るということが留学へいく目的となった。また日本で英語を学ぼうとすると少し苦勞するが英語圏の国へ行けばそんな問題も感じる事がない。それどころか効率的に学ぶことが出来る。さらに将来を考えると留学経験は社会人になってからでは体験する時間と機会を用意することが難しいように思う。いける機会が学生のうちにあるならば、ということも目的の 1 つだった。

4 留学内容

以下から研修の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中の授業スケジュールは以下のとおりである。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
1 限	Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills
2 限	Writing	Grammar	Writing	Grammar

	Lunch Break	Lunch Break	Lunch Break	Lunch Break
3限	Accent Reduction	Seminar in America	Accent Reduction	Seminar in America
4限	American History	USA and Japan	American History	USA and Japan
5限	TOEIC		TOEIC	

*基本的に金曜日には授業はなかった。

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

1) Reading

教科書を音読してそこから読み取れる情報をもとに問題を解いていくという授業。いくつかのグループに分かれ、題材について英語でディスカッションなどを行う。

2) Writing

自分で0から題材を決め、英作文を作る力を養う授業で、英作文を書く上での文法を確認しながら授業が行われる

3) Accent Reduction

この授業では英単語の発音や英文のイントネーションの上がり下がり正しいものに改善していくもの。またディスカッションを4~5人間で決められたテーマで話し合うもの

4) American History

アメリカの歴史について学ぶ授業でネイティブアメリカンについて学んだり植民地時代のアメリカについて学ぶ授業

5) TOEIC

TOEIC への対策授業であり、リスニング問題、ライティング問題、長文読解問題に分けて本番形式で解いていく授業

6) Communication Skills

教科書や動画などから得た情報について意見をいくつかのグループに分かれディスカッションする授業で名前の通り、発言力を上げるための授業内容がメインになる

7) Grammar

文法について基礎から学ぶ授業で、学んだ文法を使い短い文を作るといった授業

8) Seminar in America

アメリカの習慣や風習についていろいろな視点から物事を考えるような授業で、アメリカの遺産や独特な文化に沿ったテーマなどについて学ぶ

9) USA and Japan

日米間の過去の歴史について学ぶ授業で、テーマには湾岸戦争などが使われ、それらのテーマを各自で調べ、各々でプレゼンテーションをまとめ発表するなどの内容であった

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

1) アメリカでの経験について

アメリカへ来てから多くのことを学ぶことができた実感している。またホストファミリーの家へ訪問させていただくなど、多くの体験もできた。文化の違いは数え切れず終始驚くことばかりでとてもいい経験になったと感じている。

2) 英語力について

アメリカへ到着した初日のことを今でも思い出すが、はっきり言って何を言っているかわからないという壁に直面してしまった。日本人の多くが読み書きはできるものの聞き取りが苦手と言われていたが改めて実感した日だった。しかし大学で学びながら英語に触れる機会が増えたおかげか、相手の冗談まで理解できるようになったことに大きな成長を実感できた。

6 おわりに

留学生活を振り返ると反省点は山積みで、失敗もいくつかある。そこから学んだこととして、留学をする上で多くの日本人に当てはまる共通点を見つけた。多くの人がプライドによる影響で英語が完璧ではないという小さな気持ちから自分の意志を発言せず曖昧に濁す特徴がある。しかし完璧でなく自信がなくとも自分の言いたいこと、意志を伝えなければいけないことが言えないと後悔しか生まないと実感した。これは英語に限らないことで、気になることを変なプライドで聞けないようでは人間いつまでも目の前の問題を解消できないと思うので、例え不安であっても行動してみるべきだと新しい課題を見つけることができた。体験したことを無駄にせず、これらの課題を改善できるよう日々努力していきたい。

謝辞

今回、海外派遣留学プログラムで関わった UCM の Matt 先生、Laura 先生、Jill 先生、Miryan 先生、Lindsey 先生、Valerie 先生や多くの先生方、ホストファミリーとして暖かく迎えてくれた方々、留学のサポートしてくれた本学の藤本先生や矢口先生、その他大勢の関係者の皆様に大変感謝申し上げます。最後に、新潟国際情報大学の奨学金を含め、皆様の支えがあつての留学だったということ、改めてとても感謝しております。

付録：留学日誌

9月1日

UCM が所有するスタジアムでアメリカンフットボールの試合観戦をした。なかなか規模が大きく、開会式から最後まで地方からの多くのファンたちと UCM の出場選手を応援した。開会式にはアメリカの戦闘機がスタジアム上空を飛行していく演出があり、とても感動した。試合中はとてもハラハラする場面が多く、体の大きな選手同士がぶつかり合うシーンは印象的だった。アメリカではサッカーの認知度が低い代わりに、アメリカンフットボールが人気でテレビでも頻繁に放送されているとても人気なスポーツだった。試合は3時間ほどでテレビでもあまり見なかったアメリカンフットボールの試合に飽きる事なく楽しみながら観戦できた。



9月11日

アローヘッド・スタジアムへメジャーリーグ観戦に行った。この日はカンザスシティ・ロイヤルズ対ミネソタ・ツインズとの試合で、ほぼ全ての留学生が観戦へ行った。メジャーリーグ観戦を生で見ることはなかなか経験できないので当日は最初から最後までとてもワクワクしていた。日本でプロ野球観戦をしていたのでメジャーを見て選手、そして観客の迫力が全く違う部分に驚いた。試合は序盤からカンザスシティ・ロイヤルズがリードしており試合終盤まで優勢状態が続き、最終的にミネソタ・ツインズに圧勝した。またこの日はスターウォーズの日？だったらしく観客の中にはスターウォーズのダースベイダーなどのコスプレで観戦へ来ているユニークな人もおり、とても楽しむことができた。



9月27日

ウォーレンズバーグ市内の映画館へ行き、it というホラー映画を観た。映画の内容は子供には見えて大人には見えないピエロに弟を殺された兄である主人公と周囲の友人たちで

ピエロについて探っていく物語である。この映画は日本でも上映されたがアメリカでの上映後の数週間後だったため、少し早く見る事が出来た。



10月8日

ミズーリ州内でのジャパンフェスタへ行った。このころ日本が恋しくなっていたので日本を少しでも感じられたらと思っていたが、実際に行ってみると驚いた。ジャパンフェスタは Johnson country Community 大学内で行われていたが入ってすぐに目に入ってきたのは神社にあるような真っ赤な鳥居だった。中に入っていくと盆栽のコーナーがあるなど渋い要素もしっかりと持ち合わせており、漫画やアニメのコーナーや扇子や箸などが売られているコーナー、将棋や囲碁を体験できるコーナーや日本のお菓子が売られているコーナーなど沢山あった。日本のアニメに出てくるキャラクターのコスプレをしている人が多くいて日本愛が強いように感じた。昼食は寿司や牛丼など日本食を食べることができた。並んで目の前で盛ってもらい受け取るかたちだったのだが、作っている方が日本の方で顔を見ただけで日本人だと分かったのか日本語で語り掛けてくれた時は何か懐かしいように感じた。久しぶりの日本食はとてもおいしく感じた。



11月17日~26日 (Thanks Giving Break)

この期間中はサンクスギビングと呼ばれ日本でいうゴールデンウィークのようなもので、学校は休みになる。その期間中には計4か所のホストファミリーの家へ伺って一緒に食事をした。また24日の早朝から学生寮最寄りの駅から電車で4時間ほどのところにあるセントルイスという街に旅行へいった。セントルイスはゲートウェイ・アーチが特徴の大きな街で2泊3日をそこで過ごした。1日目は街の散策が目的だったがこの日はサ

ンクスギビングデー当日で、どこへ行っても人影がほぼない状態で、また食事をする店すらも全てしまっていた。祝日でも店が開いているというのはやはり日本を含め珍しいことなのかもしれないと感じた。2日目はセントルイス動物園を訪れた。見たことのない、言ってみれば奇妙な動物からキリンや象などの親しみのある動物まで多く見ることができた。2メートルを超える大きなアナコンダも生で見ることが出来たので、この日は貴重な経験になった。

